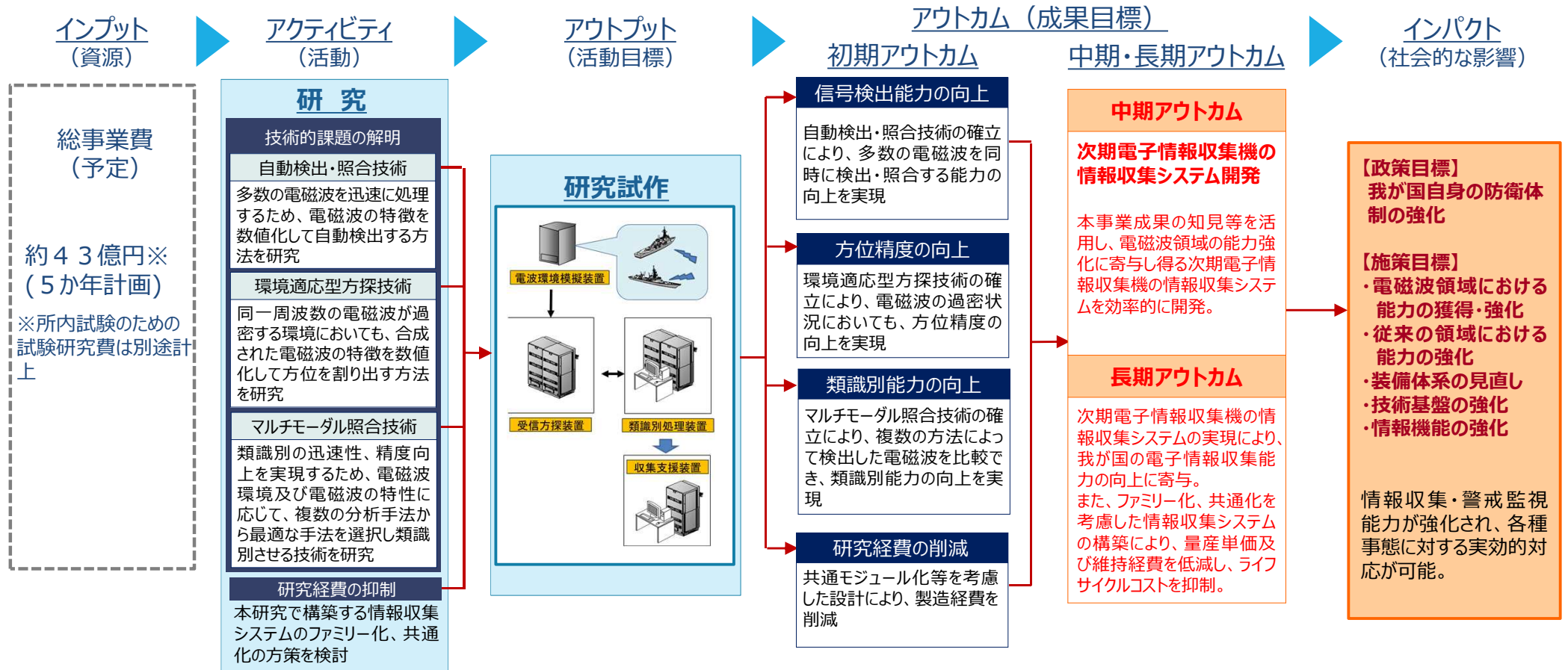


次期電子情報収集機の情報収集システムの研究試作

本事業は、現有機である多用機 E P - 3 の減勢に伴う後継機（次期電子情報収集機）の開発に先立ち、我が国周辺国が使用する電磁波の質及び量の両面にわたる能力向上に対応するとともに、領域横断作戦に必要な電磁波領域の能力強化に寄与し得る航空機搭載型情報収集システムに必要な技術を確認するものである。

現状・課題

技術革新により電磁波の秘匿性及び抗たん性が格段に向上し、多数の目標から複雑化した電磁波が多数輻射されており、現有機による収集が困難となってきている。



<研究実施線表>

年度	3	4	5	6	7
実施内容		本事業 (研究試作 (その1))			所内試験
		本事業 (研究試作 (その2))			

総合評価

本事業は、電磁波領域の能力強化に関連した機能の獲得に資するものであり、現有機の減勢に伴う後継機開発に先立ち、技術的課題を解決するために必要である。また、電子情報収集技術は、機微性が高く、運用ニーズを満足する諸外国の装備品を導入は極めて困難であり、かつ、国内における現有装備品についても全てを代替するシステムは存在しないため、我が国が独自で研究を行う必要がある。さらに、計画段階から後継機の配備時期を見据え、先行研究の成果や民生品の活用を図るなど、研究期間の短縮及び経費の抑制を図っており、費用対効果の面からも効率的な事業である。以上の点から、本事業は運用ニーズ及び政策体系上の位置付けと一致し、かつ、いずれの政策評価の観点からも妥当と評価できることから、令和3年度からの着手が適当であると判断する。